

1学年だより

夢の宅配便

1年学年主任

水野 喜代治

決意 NO8

教師をしていて、うれしかったり、感動したりする場面はたくさんあります。生徒が物事を決意した瞬間もうれしい場面の一つです。

人が変わるときは、必ず決意が伴います。決意とは「私は、こうします。」「私は、頑張ります。」など、気持ちをぶらさずに一つに決めることだと思います。自分の心の中にあるいろいろな気持ちを整理することを意味しています。

また、決意は自分自身と約束することでもあります。「私は、明日から遅刻しません。」と決意することは、明日から時間を守るように行動することを自分に誓うことです。決意は、自分と交わす約束なのです。人との約束を破れば相手から非難されたり、信用を失ったりします。しかし、決意は、破っても、他人からは非難されません。ですから決意はすぐに揺らいでしまいがちです。しかし、決意を貫けば自分自身を変えることになります。自分自身を大きく成長させることになります。決意ができない人、決意を守れない人は自分を変えることができません。

毎朝、職員室に学級日誌や健康観察カードなどを担当の生徒が取りに来ます。「失礼します。健康観察カードを取りに来ました。」礼儀正しく、挨拶をして職員室に生徒が入ってきます。その中で、自信がなさそうに小さな声で「健康観察カードを取りにきました。」と男子生徒が入ってきました。その生徒から話を聞くと、「人前で話すのが苦手で、入試の面接も自信がない。」ということでした。「明日から、私が面接官になってあげるので、面接を受ける気持ちで、大きな声で挨拶をして職員室に入ってきたらどうかな」と声をかけると「はい」と精一杯の声で返事をかえしてきました。その時、私は、この生徒の決意を感じました。次の日から、男子生徒は、精一杯の声で挨拶をして職員室に入ってきました。「いいね。声聞こえるよ。頑張って！」と私も彼を励ました。二週間ほどたった日の朝、「失礼します。」という大きな声に私はびっくりしました。姿勢を正して、「健康観察を取りに来ました。」と彼が挨拶をして職員室に入ってきたからです。「100点だね。すばらしいよ。高校の面接も自信もって頑張ってくださいね。」と私は感動して声をかけました。「はい。ありがとうございました。」とうれしそうな表情で返事が返ってきました。

この生徒とは、授業も教えていないのでつながりがなかったのですが、合格発表の日に「先生、高校に合格しました。ありがとうございました。」と私に笑顔で報告してくれました。入試が終わった後も彼は礼儀正しく「健康観察カードを取りに来ました。」と挨拶して職員室に入ってきます。「今度は、卒業式だね。卒業証書授与の時に担任の先生に呼名されたら大きな声で「はい」と返事できるといいね。卒業式は緊張するし声が出にくいけど、お父さん、お母さんに感謝の気持ちを込めて言えると素敵だね。」と彼に話すと「はい」と力強い返事が返ってきました。そこに、卒業式に気持ちを込めて返事をするという彼の決意を再び感じて、成長したなとうれしく思いました。そして私の心の中に体育館に大きく響く彼の返事が聞こえてきました。